舞台は世界だ！

Go! Global

KANTO GAKUIN MUTSUURA
JUNIOR&SENIOR HIGH SCHOOL

２０１７ ＫＧＭ
グローバル人材
育成プログラム
レポート Vol.12

京都・奈良
KYOTO・NARA

ますます進むグローバル化は、加速するボーダーレス化とも言えます。中高一貫校での６年間は、入学から10年後、さらには 20年後の社会を見据えて準備する大切な時と場です。ボーダーレスに向かう社会を早期に意識し体験する学習環境づくり。関東学院六浦は60周年を迎えた今、「若く純粋な想いを道へ……将来を世界に繋ぐこと」が新たな使命と考えています。

世界の中の日本

京都＆奈良 研修

「個」の育成

学び方を楽しく学ぶ

夜、生徒それぞれのその日の訪問先の振り返り時間に興味深い光景がありました。感想を話しあっていましたけど、事前学習の成果なのか、学問的な情報を交えて熱心に意見交換もしていましたよ……引率教員が京都の宿での様子を語っていました。学年全体で行く京都修学旅行にとって代わった希望制行事の京都・奈良研修の報告です。事前の学習で色々と話しあい、自分の興味や関心を絞り込む。自分なりの研修テーマを決める。テーマに沿って十分に下調べを行い、交通手段や時間配分を含めて行動計画を立てる。実際に訪問し、調べたことと比較し検証する…。

京都・奈良の研修も Go! Global の精神で、自律的な研修を目指しています。京都までの交通と宿泊先が団体で、現地での 3 泊 4 日は自分の計画に従って京都と奈良を散策し研修します。経験を個別化します。見聞したことを振り返りとして整理します。それを報告し合い、意見を交し、自分の経験を客観視します。こうして気づきを深めていきます。これが六浦の「気づき」への教育で、自己啓発力に繋がる「メタ認知」の方法の一つです。

学年全体で行う修学旅行は、中学 1 、2 年生の宿泊研修以降のものを廃止しました。コミュニケーションの手段や情報取集の手段が乏しかった時代、また、旅行自体も大掛かりな行動であった時代には、修学旅行は大きな意味を持ちました。集団での協働と連帯感、全体に対する個の責任を教えることが伝統的な目的でした。しかし、時代は変わり、様々な交流ツールを持てるようになった今、子どもたちが付けるべき力が新しい学力観として唱えられています。個人の考える力や創造する力を集団の中に埋没させたり、個としての思考や自主的計画性を持たずに依存したりすることで安心を得るという時代ではなくなりました。これからは、自分の生き方に関する意思決定も、個人にますます強く問われるようになっていくでしょう。

10 年後の日本…少子高齢化で国内の就労環境のグローバル化が急速に進みます。世界は経済格差がどんどん縮小します。技術や文化面だけではなく日常的なあらゆる面で、人材の登用にも、ボーダーレス化とフラット化の波が大きく押し寄せるでしょう。国境をまたいで働くことがごく普通になる時代がすぐそこまで来ています。その時代に必要なことは、「個」としての認識と力です。個であることを意識し、個で行動できる力を育てることが必要です。六浦は、身近な研修にもその目的を求めたい。六浦の Go! Global はその思いを語ります。

（学校長　黒畑 勝男　2014年入職就任）

★参加生徒の一人ひとりが、自分の興味関心をテーマにします。
★自分のテーマに沿って入念に調べます。
★現地ではテーマに沿って目的の訪問先を見学し、情報を取集し、事前に調べた事柄とすり合わせをします。
★現地の風光に触れ、事前の調査では気づかなかったことを総合的に、かつ実学的に感じ、振り返りの中で言葉にしていきます。
★事後学習は、研修で知ったこと、事実認識として興味をひかれたこと、思いを深めたことなどをまとめて、プレゼンテーションの形にしていきます。
（事前学習の中で、茶道を通して「和」について学ぶ機会もあります）

個々の研究テーマの一例

- 建造物と町のつながり
- 外国人を引き付ける京都の魅力について
- 京都の世界遺産
- 小説「青い月の夜、もう一度彼女に恋をする」の舞台を訪ねて、京都の美しさを味わう
- 京都と奈良の寺の違いからわかる文化の違い

今回の研修を通して学んだこと

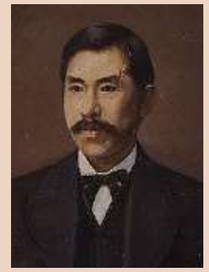
研修で感じたこと

今回の研修でのテーマは「京都のキリスト教の歴史について」でした。そこで、京都の有名なミッションスクールの同志社大学と、戦前からあり京都でも歴史のある丸太町教会を見学させていただきました。テーマを通して強く感じたことは、明治以降京都の立派なクリスチャン達の活躍によって今日までの歩みがあるということです。

このように思ったのは、クリスチャンであり、明治六大教育家の新島襄が同志社大学を設立した際に、一番最初に礼拝堂を建てたという話を聞いたからです。見学させていただいた礼拝堂は二代目の再建された姿でしたが、現存するプロテスタント教会では日本で最古だと聞き、とても驚きました。

丸太町教会では礼拝に出席させていただきました。信仰告白式（幼児洗礼を受けた人が信仰告白してクリスチャンになる）が行われ、キリスト教の歴史が続いていくのを感じました。

3年　T.U



[同志大学ホームページより]

自分で決める

私は今回、古くからの建物の歴史を知るという研修テーマを立てました。

最も印象に残った建物は、二条城でした。徳川慶喜が政権を武家から天皇に返した大政奉還が行われた場所（大広間）はもちろん、二の丸御殿の中にある部屋のほとんどに金が使われていました。

また、ふすまに描かれている絵も部屋によってみんな違うことから、当時の徳川家の繁栄ぶりをあらためて知ることが出来ました。さらに、歩くと音が鳴る鶯張りが施された廊下から、ものすごく厳重な警備をしなければいけないほど、戦いが絶えない世の中であったのかなとも思いました。

私は今回初めて自分で計画を立てて行くということをしました。実際、乗り物の時間や建物の開館時間、見学地での時間を調べるなど細かいところまで決めるのは、とても大変でした。でも、この経験が自立するための一歩になったり、「将来歴史について調べるというのも一つの道だな」と思うきっかけになりました。

3年　A.U

今までよりも細かく

私は、12 月 22 日から 25 日まで今年から新たに始まった京都、奈良研修に参加してきました。

今回の自分が考えた研修テーマは「建造物と町のつながり」です。また自分と馴染みがある鎌倉との比較でした。

特に私が鎌倉との比較を行いたいと思ったところは奈良県にある東大寺です。東大寺は 743 年に聖武天皇によって創立され大仏殿は世界最大級の木造建築としても知られています。ここには、盧舎那仏（るしゃなぶつ）と呼ばれる大仏様があり言葉の由来は太陽や光を表すものであると分かりました。このことから当時の人々は大仏様を心の支えと希望として生活してきたと考えられます。このように実際に見て調べたことを鍵に当時の時代風景を読み解くということが出来るのもこの研修の良さです。鎌倉にも有名な長谷の大仏様があり 2 月に行われるプレゼンテーションで比較をしてみたいと考えています。

この他にも心に残っている建造物も多数あります。しかし、建物だけでなく現地の方々との出会いもしっかりと目に焼き付きました。最初に書きましたが、私が鎌倉に馴染みがあるというのは生まれも育ちも鎌倉だからです。京都や奈良の方々の私たちへの対応はとても親切で、温かく接して下さいました。鎌倉に観光で訪れている人の気持ちはどうなのだろうか？と考えました。

自分も来年は 4 年生です。様々な点から自分を考える研修ともなりました。

3年　T.E

カンボジア サービス・ラーニング 第４回目

サービスラーニングは、言葉の通り「サービス＝奉仕」について学ぶ研修であり、「事前準備から時間を奉げ、より良いものを作り上げて届けること」を目的としています。

今回で4回目となるカンボジア・サービスラーニングは、1年生3名・4年生1名・5年生3名の合計7名（内、2名が連続参加者）という構成でスタートしました。「交流を通じて、カンボジアの子ども達を笑顔にし、同時に日本とカンボジアの豊かさの違いについて学ぶ機会を持とう。」というスローガンを掲げました。例年同様、礼拝で呼びかけて献品や募金活動を行いました。現地では、教育ボランティアとして研修授業をさせていただくというミッションをもっています。出発までに16回の「集い」を重ね、歴史や言語学習を含めつつ準備にあたりました。

中学校での研修授業を皮切りに、3回研修をさせて頂きましたが、最初は殆ど聞こえなかった挨拶も、最後の小学校では校庭でも響き渡る程の成長を見せていました。生徒達は研修授業を重ねる内に自然と現地の子ども達と手を繋ぎ「自身の感性」で積極的にコミュニケーションをとれる様になりました。その姿に逞しさを感じつつ、「人になれ奉仕せよ」という校訓の実践が正にこの場にあると実感しました。

この経験を生かし、生徒達には更なる成長を期待しつつ、次年度以降も多くの生徒にこの素晴らしい体験をして欲しいと願っています。

引率　中村新

タ 14名が出発！ターム留学＆1年間留学

本校では 2 学期までに、7 名の生徒がアメリカやカナダなどに 1 年留学に出ています。この 3 学期からはさらに14 名の生徒が 1 年留学あるいはターム留学 (2〜3ヶ月の1学期間の留学) に出発しました。

今年度からスタートしたNZの1年留学には、オークランドの Cambridge High School に1名、そして本校がラグビープログラム等で提携している Christchurch Girls' High School には3名の生徒が参加しています。またターム留学は、オーストラリアに6名、カナダに1名、マレーシアに3名が参加しています。それぞれ国や期間は違いますが、素晴らしい経験となることでしょう。これからも本校では、生徒たちが将来、世界を舞台に活躍する人に育つよう、多くの留学プログラムを用意していきます。

アラスカ研修　オーロラと地球

第 3 回アラスカ研修は、11 名 (3 年生 6 名、4 年生5名) の生徒が参加し、1 月 28 日より7日間の予定で実施されました。研修に先立ち、11 月に成蹊大学の藤原均教授に来校していただき「オーロラと宇宙」のテーマでオーロラが光る仕組みや宇宙の天気とオーロラの関係などについての話を伺いました。また、12 月には立川にある国立極地研究所の南極北極科学館を訪れ、オーロラ帯（オーロラバンド）や極地における生活などについて学びました。

1 月の最終説明会の後には、プロのカメラマンの方から極地での写真の撮り方やオーロラ撮影をするためのポイントなどについて丁寧に教えていただき、準備万端で臨みました。

私たちが宿泊するフェアバンクスは、かなりの確率でオーロラを観測できる所ですし、1 月 31 日には皆既月食が見られると期待しました。事前準備で学んだことをもとに、単なるオーロラ観測ではなく、地球環境を学ぶ機会としての意義をしっかりと理解した研修となったと思います。現地報告は次号をお楽しみに！

引率　大村美和子

関東学院六浦中学校・高等学校
〒236-8504　神奈川県横浜市金沢区六浦東 1-50-1
TEL:045-781-2525　URL: http://www.kgm.ed.jp/